



香住区の新成人

「平成31年香美町成人式」が1月13日、香住区中央公民館文化ホールで行われ、晴れて大人の仲間入りを果たした新成人の皆さんは仕事や学業への誓いを新たにし、未来への責任と決意をにじませました。

今年の新成人は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までの間に生まれた町内在住者および町内の小・中学校に在学したことがある人、計233人（香住区161人、村岡区53人、小代区19人）。このうち194人（男性100人、女性94人）が式典に出席し、振り袖や羽織はかま、真新しいスーツに身を包み、久しぶりに会う恩師や友人との話に花を咲かせたり写真を撮つたりと旧交を温めていました。

式典では、国歌斉唱に続いて浜上町長が「昨年、ノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学の本庶佑特別教授が『一番重要なのは不思議だな』という心を大切にすること。教科書に書いてあることを信じない。常に疑いを持つて本当はどうなんだろうという心を大切にする。つまり、自分の目で物を見る。そして納得する。そこまであきらめないこと」と発言されました。この言葉はすべての人に関係する言葉ではないでしょうか。皆さんもこれから長い人生で失敗することは少なくないと思いま



▲新成人を代表して誓いの言葉を述べる藤村さん

す。しかし、常に問題意識を持ち、あきらめずに粘り強く、また仲間や家族、地域の人々との絆を大切に頑張っていただきたい」と式辞を述べ、新成人の皆さんを激励をしました。

その後、新成人を代表して朝倉斗真さん（小代区大谷）と山本菜生さん（香住区上計）が記念品を受け取り、藤村直之さん（村岡区長板）が昨年の夏に海外の小学校で勤務した経験に触れ、「大事なことは『できる』『できない』ではない。今まできなかつたのなら、次またすればいい。次が駄目ならまたその次。そう感じられるだけの時間が、体力が、熱意が、僕たちにはある。目標への一生懸命さが、見る人の心を打ち、ゴールに向かって泥臭くもがく姿が、周りの人的心を変えるのだと考えます。この何もできない若者だからこそ、社会や世界をよりよく変えていけるのではないか」と力強く伝え、「一社会人としてのモラルのある行動に励み、一度の人生を笑つて過ごせるように、一日一日を一生懸命生きていきます」と誓いの言葉を述べました。



村岡区・小代区の新成人



式典の司会を務めた香住高校3年の茨直輝さんと仲村眞那さん